

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成26年4月22日（火）

3. 調査の対象

泉佐野市立中央小学校 第6学年，全児童
実施児童数（118人）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

- ア 教科は、国語及び算数。
- イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。
- ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「児童アンケート調査」という。）を実施する。

(3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べて上位層が少ない。
平均正答率（本校 72.1／泉佐野市 70.3／大阪府 70.7／全国 72.9）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況にあるが、全国と比べて上位層がやや少なく下位層がやや多く分布している。
平均正答率（本校 55.6／泉佐野市 51.9／大阪府 52.6／全国 55.5）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語A	特徴がみられた設問
<p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関すること】</p> <p>○学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むことが概ねできている。</p> <p>問題：1－(1)「道路の標識を見る」の漢字を読む。 (94.1/91.7)</p> <p>1－(2)「街灯がつく」の漢字を読む。 (81.4/80.0)</p> <p>○学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書くことが概ねできている。</p> <p>1二(1)「料理をのせた<u>さら</u>を運ぶ」漢字を書く。 (98.3/97.8)</p> <p>【書くこと】</p> <p>○仮定の表現として、適切なものを捉えることが概ねできている。</p> <p>6二：文の意味のつながりを捉え、適切なものを選択する。 (84.7/83.1)</p>	<p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関すること】</p> <p>○故事成語の意味と使い方を理解することに課題がある。</p> <p>2一：「五十歩百歩」の使い方として適切なものを選択する。 (47.5/55.8)</p> <p>2二：「百聞は一見にしかず」の使い方として適切なものを選択する。 (41.5/49.9)</p>

国語B	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>○目的に応じて、話し合いの観点を整理することが概ねできている。</p> <p>1一：司会④の発言の内容をまとめて書く。 (72.9/65.2)</p> <p>【読むこと】</p> <p>○付箋に書かれた内容を関係付けながら、最初に持った疑問を捉えることが概ねできている。</p> <p>2一：付箋の内容を関係付けて、原田さんの疑問を書く。 (71.2/71.9)</p> <p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関すること】</p> <p>○二つの詩を比べて読み、表現の工夫を捉える。</p> <p>3一(1)：「詩1」の表現の特徴として適切なものを選択することが概ねできている。 (77.1/80.4)</p>	<p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>○立場を明確にして、質問や意見を述べることに課題がある。</p> <p>1三：大野さん②の発言に対し、手書きの立場から質問か意見を書く。 (33.9/28.3)</p> <p>【書くこと・読むこと】</p> <p>○分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関係付けながらまとめて書くことに課題がある。</p> <p>2二：付箋の内容を関係付けて、原田さんの疑問を書くことに課題がある。 (34.7/26.9)</p> <p>【読むこと】</p> <p>○二つの詩を比べて読み、自分の考えを書くこと課題がある。</p> <p>3三：「詩1」「詩2」を比べて読んで考えたことを書く。 (39.8/48.1)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	59.3	59.2		0.1
国語の勉強は大切だと思いますか	90.6	91.3		0.7
国語の授業の内容はよく分かりますか	87.3	82.1	◇	5.2
読書は好きですか	67.7	73.0	◇	5.3
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	85.6	87.4		1.8
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	68.6	61.4	◇	7.2
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	55.1	58.5		3.4
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いています	70.4	70.7		0.3
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか	69.5	75.8	◇	6.3

○「国語の勉強は大切だと思いますか」という質問に90%以上の児童が大切だと回答しており、国語の大切さは認めている。

○「読書は好きです」と感じている児童の割合が全国と比べて低く、今後の課題である

○「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている」児童は全国と比べて割合が高い。

今後も資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりする授業を目指していく。

○「国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか」は全国に比べ割合が低い。

文章を読むときのポイントの指示や、読書する時間・回数をより多くする取り組みを行う。

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は下位層が少なく、全国と比べ上位層がやや多く分布している。
平均正答率（本校 79.7／泉佐野市 75.9／大阪府 77.3／全国 78.1）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は中位層が多く、全国に比べるとやや下位層が少ない。
平均正答率（本校 60.0／泉佐野市 55.6／大阪府 56.3／全国 58.2）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

算数A	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】 ○繰り上がりのある加法の計算をすることは概ねできている。 1（1）$46 + 57$を計算する。 (98.3/96.9) 1（2）903×6を計算する。 (89.9/92.8) 1（3）$9 - 0.8$を計算する。 (92.4/83.8) 1（4）$2 \div 5$を計算する。 (94.9/91.8) 1（5）$100 - 20 \times 4$を計算する。 (94.1/80.9) 1（6）$1/3 + 2/5$を計算する。 (96.6/90.6)</p> <p>【量と測定】 ○体積の単位（1cm^3）と測定について概ね理解している。 5（2）1cm^3の立方体を基に、示された直方体の体積を求める。 (88.1/81.1)</p>	<p>【図形】 ○作図に用いられている図形の約束や性質を理解することに課題がある。 6番：コンパスを使った平行四辺形のかき方について用いられる平行四辺形の特徴を選ぶ。 (42.4/52.0)</p>

算数B	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】 ○示された場面から計算の結果の見通しをもち、（2位数）\times（1位数）の筆算が概ねできる。 1（1）：示されたかけ算の中で積に同じ数字が並ぶものを選ぶ。 (94.9/94.6)</p> <p>【量と測定】 ○示された情報を基に、条件に合う時間を求めることに課題がある。 3（1）昨年の昼食時間を見直したときに、今年は準備の時間を何分間にすればよいかを書く。 (41.5/38.6)</p> <p>○示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を記述できる 3（3）示された分け方でスープを分けたとき、残りの30人にスープを分けることができるかどうかを選び、そのわけを書く。 (35.6/30.6)</p>	<p>【数と計算】 ○示された情報を解釈し、基準量の1.5倍の長さを表している図を選択することに課題がある。 5（2）使いやすい箸の長さの目安を基に、一あたり半の長さを表している図を選ぶ。 (33.9/46.1)</p> <p>【数量関係】 ○示された情報を整理し、筋道を立てて考え、小数倍の長さの求め方を記述することに課題がある。 5（3）妹の身長を基に、妹の使いやすい箸の長さの求め方と答えを書く。 (28.0/33.0)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	58.5	66.1	◇	7.6
算数の勉強は大切だと思いますか	90.7	92.3		1.6
算数の授業の内容はよく分かりますか	70.4	79.6	◇	9.2
算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	71.2	77.3	◇	6.1
算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	72.9	78.1	◇	5.2
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	58.5	65.4	◇	6.9
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	86.4	89.0		2.6
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	75.4	79.4		4.0
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	75.5	81.3	◇	5.8
算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	82.2	83.4		1.2

○平均正答率はA・B問題とも上回っているが、学習状況調査では全ての回答が全国より低い結果である。

○「算数の勉強は大切だと思いますか」の質問に、大切だと回答した児童が90%以上おり、算数の大切さは認めている。

○「算数の授業の内容はよく分かりますか」の割合が、全国より10%近く低い回答となっている。

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択（62問）で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問（12問）は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校 回答率 / 全国 回答率 >
【家庭生活の様子】	・就寝時間が全般的に遅いようである。ただ、朝の登校は8時30分までにはほとんどの児童が登校している。	1. 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。 <70.3/79.2> 2. <u>普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか（3時間以上する）</u> <30.5/17.0>
【家庭学習の様子】	・家庭での学習は宿題が主で、予習までとりくんでいる児童は多くない。 ・学校、地域の図書館の利用が活発に行われていない状況である。これからの学校の課題である。	1. <u>昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか（週に1～4回程度いく）</u> <7.6/18.7> 2. 家で、学校の授業の予習をしていますか <21.2/27.1> 3. 家で、学校の授業の復習をしていますか <46.6/54.0>
【学校、地域での様子】	・現在、グループ学習等授業の改善に向けてとりくんでいる。日々の授業で児童の向上心を高める指導がさらに必要である。 ・校区ドッチボール大会、中央のWA、新池フェスタ等、地域行事が多くある。今後の積極的な参加を呼びかけていく。	1. <u>先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか</u> <69.5/79.7> 2. <u>今住んでいる地域の行事に参加していますか</u> <53.4/68.0> 3. 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか <55.0/62.9> 4. 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか <33.1/42.5> 5. 新聞を読んでいますか <17.8/27.1> 6. <u>5年生までに受けた授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていたと思いますか</u> <89.0/77.3> 7. 5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか <89.9/83.7> 8. <u>学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか</u> <68.6/57.6>

本校の取組み

◎これまでの取組み

基礎学力の定着には、朝の会の15分間を利用しています。学習内容は、以下の通りです。

月曜日	児童朝礼または朝学習	漢字，算数の問題
火曜日	チャレンジタイム	算数の総合的な問題
水曜日	朝学習	漢字，算数の問題
木曜日	読書タイム	読書または本の読み聞かせ
金曜日	朝学習	漢字，算数の問題

また、「心豊かな子どもの育成 ～共に学び合う，楽しい授業を目指して～」を研究主題として授業研究にとりくんできました。授業は日頃のとりにくみが大切です。そして、さらに密度の濃い授業をめざし研究授業を行っております。

研究授業は、全学年で行い、外部より講師の先生にも来て頂き、全教職員が参加し、授業参観後に討議を行い、翌日からの授業実践に役立つようにしております。日々の授業の中で、グループ学習を取り入れ、周りの意見や考えを聞き、自分自身の考えを持ち発表する力の育成に努めております。

さらに、発表するときに型の指導も行っています。「これから、私の考えを言います。・・・」「何か質問はありませんか。これで私の発表を終わります。」

このように、日々の授業で子ども達が、自信を持って自分自身の考えや意見を述べる事ができる授業を目指しています。

◎これからの取組み

以下に示した取り組みは、昨年度もとりにくみできました。今後もステップアップを図りながらとりにくんでいきます。

①日々の授業でのとりにくみ

(ア) ホワイトボードの活用

一人ひとりがボードに記入することで、自分の考えを表現し伝える。

(イ) 文章の暗唱にとりにくむ

大きな声で文章を暗唱し、言葉のシャワーをあびることによって自信をつける。

(ウ) 読書活動の充実

読書をする事により、言葉の語彙数を増やすとともに、新しい知識や考えを吸収する。図書館の充実を図り、読書量によって表彰する。

(50冊読書達成・100冊読書達成・150冊読書達成時に、カード形の表彰記念を贈る。)

②過去問の演習

5年生時に、本年度の全国学力・学習状況調査問題を行う。

③府のWEB教材の活用

府が作成した、基礎学力向上プリントを授業や家庭学習で活用する。

④教職員の研修目標の確認と研修内容の充実

めざす子ども像の共有と日々の授業の充実を図る。